

# 花 無 心 第 281 号ダイジェスト版 2024 年 7 月 下旬発行

ひきこもり家族自助会とやま大地の会(設立 2001 年 3 月)

振込先 北陸労働金庫 富山南支店 普通 3414428 とやま大地の会

## ♪♪ 例会のおしらせ ♪♪



例会は、ミニ講演やグループでの分かち合いの場です。また個別相談会(希望者)も行っています。  
能登半島地震の影響により、**会場が変更になっています**。今後も変更点がある場合がありますので、  
参加を希望される方は、本会のホームページでの確認をお願いします。

08 月 17 日(第 3 土曜日) 第 282 回例会 13:30 ~  
富山市舟橋北町 7-1 富山県教育文化会館 501 号研修室  
09 月 21 日(第 3 土曜日) 第 283 回例会 13:30 富山県教育文化会館 503 号研修室  
10 月 19 日(第 3 土曜日) 第 284 回例会 13:30 富山県教育文化会館 502 号研修室  
11 月 16 日(第 3 土曜日) 第 285 回例会 13:30 富山県教育文化会館 502 号研修室

\*\*\*\*\*

会費 正会員の 2021 年度からの年会費は 2,000 円。例会参加費無料。(振込料は各自負担です。)  
非会員の方の、2021 年度からの例会参加費 200 円です。  
駐車場について … 会館近く北東側に会館の駐車場があります。

- ◎富山県ひきこもり地域支援センター、最寄りの厚生センター、保健所で相談をしましょう。適切な支援に繋がるよう力を借ります。
- ◎支援センターに希望すること、親に出来ることを常時募集しています。
- ◎ご相談があれば、大地の会のホームページからお問い合わせ下さい。

「とやま大地の会」のホームページですが、下記 URL で開設しています。ご覧ください。

<http://toyamadaichinokai.com/>



本会の各事業は、富山県、赤い羽根共同募金の助成を受けて実施しています。

## ♪ 7 月例会報告 ♪

日 時: 7 月 16 (土) 13:30~15:50 富山県教育文化会館 502 号室

参加者: 19 名(男性 6 名{内体験者 1 名}、女性 13 名{内体験者 1 名})のご参加がありました。

例会の始めに、H さんのハーモニカ演奏にあわせ、『我は海の子』、『たなばたさま』、『みかんの花咲く丘』を歌いました。

### I あいさつと諸連絡

本日は、281 回目の例会です。ご参加いただき、ありがとうございます。猛暑と多雨の日が続き、大変な日々ですが、ご参加の皆さまと、日頃の緊張を解きホット出来るひと時を過ごしたいと思います。

### 【8 月例会・ミニ講演のご連絡】

【日時】 8 月 17 日(土) 13:30~ 【会場】 富山県教育文化会館 501 室

【講師】 NPO 法人なでしこの会(名古屋市)代表 田中義和さん

講演テーマ「ひきこもっていても元気に生きる」

### 田中さんからのメッセージ

長期・高齢化がますます進んでいます、今年の KHJ 全国実態調査でも本人の平均年齢は 40 歳を越え、平均ひきこもり年数が 11 年を越えています。

ひきこもりが長期化すると、本人が支援を望まない、なかなか「変化」が見えない、これからのことを考えると不安なご家族も多いと思います。

そんな現状の中で、ひきこもる人と一緒に暮らす私たち家族に出来る事は何でしょうか。私の家族として

の体験、なでしこの会の取り組みも紹介しながら、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。

大学教員（発達心理学）として保育者養成に取り組んで来ました。退職後、NPO 法人なでしこの会理事長、全国ひきこもり家族会連合会（KHJ）理事も務めています。

特技は「光るどろだんご」（写真）づくり。鏡のように顔が映ります。保育者や子どもたちと一緒に作って楽しんでいます。

当日は、例会をいったん閉じた後、16時過ぎから約1時間、田中さんを囲んで懇談をします。

※ 田中さんの作った「どろだんご」の写真です。➡



## II いつもの話し合い

全体会では、

- \*今年の4月より「孤独・孤立対策推進法」が施行。自殺者が年間3万人を超えていた時には「自殺対策基本法」が、また、子どもの相対的貧困問題がおきたときは、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」も施行されました。そして、相談・支援の充実や関係機関の連携がうたわれました。しかし、三法ともその中に、生活に関するセーフティネットの窓口機関である福祉事務所等が抜けています。生活に関するセーフティネットの窓口機関が、本人に寄り添い、伴走支援していくことはなぜ難しいのかと思っています。
- \*働いている。いろんな経験の中で会社に行きたくなくなったときなど、会社にゲートキーパー的な人がいると、安心できる。
- \*県外より引っ越してきた。両親の介護で大変。息子のことで、この会のことを思い出し、参加した。自分を励ましていきたい。
- \*息子と会話することを大事にしている。ただ自分の思いと違う反応されると対応が取れなくなる。ある日、壁をたたく音がしていた。今までは、じっと聞くだけであったが、部屋より出てきた時に様子を聞くと「別に…」と言う。そこで聞いた自分に、ここまできたと感じた。
- \*地域のことなどを息子と一緒に考え、一緒に行っている。引き継ぎと思いながら。健康でいられることをありがたく、感謝の気持ちでいる。
- \*初めて参加。大学で何かあり、行けなくなった。保健所で相談もしていた。担当者がやめられ、相談がとぎれた。息子も40代になり先が心配でここに来た。
- \*（初参加）子は高校生。夏休み頃から学校に行けなくなった。ある日、突然バイトをすと言い、コンビニへ。1か月ほどでやめてきた。それっきりどこへも行かず、部屋からも出てこない。
- \*子は大学の途中で行けなくなった。最近、父親が急に病気で亡くなった。亡くなった後のいろんな手続きに行く際は、子もいろいろ動いてくれ、食事と一緒にとるようになった。前向きに生きていれば、何がきっかけになるか分からない。
- \*初めて健康診断に行った。体の不調を感じて行ったのかと考えている。いろんな捉え方、受けとめ方ができるようになり、見守っていこうと思う。
- \*20年以上になる。なかなか変化がない。これからもあきらめないで、できることはしながら、最後は、それを受け入れていこうと思っている。
- \*仕事も変わり、2か月以上続いており、自分で自分をほめている。調子を上げ過ぎず、下げ過ぎずにいるようにしている。大地の会には、ガス抜きの感じで来ている。
- \*子はひきこもって2年半。最近少し変わってきた。外食に出かけたり、買物にも行けるようになった。旅行にも。
- \*相談の場で、いろんな方とお会いし、お話を伺ってきて、積み上げてきたものが、異動などで途切れてしまう。自分のできることを少しでもしたいと思い、今、試行錯誤している。
- \*初めて参加。子が大学卒業でひきこもった。私も60代後半になったが、専門資格を取得したいと思い、学校に通っている。子と年齢の近い同級生の方との話で、「お子さんが卒業されたことを評価されましたか」と問われて、ハッと気づいた。

引き続き、2班に分けていつもの話し合いをしました。

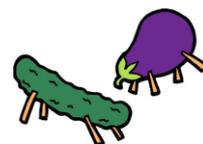
### A班（14名） フリートーク

- ・病院の診察を親としてすすめたい。  
→本人が行きたいと言う思いが出るまで待つ。本人の気持ちどれが良いかな？と、思った時に話す。選択肢のプロセスが大切。
- ・辛い、死にたいなどのSOSにどう対応していいか  
→（元当事者）SOSは親に話を聞いてもらいたい事もある。

- ・離れて暮らしている息子に届かないかもしれないけど、がんばれ！応援してるよ！と日々思って子どもを信じている。
- ・信じる事が辛い時がある。こうしたら良い、こうあるべきそんな思いを伝えてしまう事がある。  
→ (元当事者)親には否定してほしくない。ただ話を聞いてくれて待つ欲しい。どんな事で変わるかわからないけど動こうと自分で決められた。
- ・資格を取るために勉強し、初めてパソコンを教えてもらうようになって息子とパソコンを通して会話出来るようになった。  
→ (元当事者)親には好きなことをしてもらいたいと思う。自分の事で夫婦喧嘩や家族が険悪になるのは嫌だった。
- ・本人が動きたいと思った時に色々な選択肢を親として準備している事は大切な事だと思う。家族だけで抱えず、第三者に伝える事、大切だと思う。
- ・会話が無い。食事を準備しても子がひとりで食べる。  
→母の食事をとってくれる事はありがたい事。
- ・あれが悪かったからこうなると反省する事も多い。  
→過去の反省をしても苦しくなるので、今、何が出来るかな。これから何が出来るかを考えていくことにしている。

**B班 (5名)** 8050の件で、Sさんから、

「**人的ネットワークも重要な資産**」の提案があり話し合いしました。



**概要:** 視点1: 親亡き後には、誰かしらのサポートが必要

子どもを支援してくれる人や、機関を見つけることは重要

視点2: 兄弟姉妹・家族信託・日常生活自立支援事業・成年後見人制度

兄弟姉妹は親代わりにはなれない、家族信託は管理運用の権限を子供などに託すもの。

**話し合い:**

- ・親の死後、財産を子に残すやり方、あまり知らない。  
→ 信託銀行だと相続金に税金がかからず手数料が不要。ただし銀行がつぶれた場合の補償はない。他に銀行・保険会社・郵便局などそれぞれ仕組みは違いますが扱っています。
- ・成年後見人制度は、大地の会のミニ講演で話を伺いましたが、家族信託や自立支援事業などのサポートについては、存在自体知らなかった。  
→ 歴史が浅い。大地の会のミニ講演で教えてもらったらどうか?
- ・障害者手帳の手続きや使用について分かっていない。
- ・世間では、兄弟姉妹だからひきこもりの本人の面倒を見るのは当たり前と思っている方がいると思いますが、その方の苦しさを分かってあげたらと思う。  
→ 兄弟姉妹の大変さを分かってあげ、心の負担を軽くしてあげることが出来ないか。

### Ⅲ その他

- 1 例会では、十分に自分の話が出来ない。言い足りないことなど日常のあゆみなど

体験発表をしてみませんか? 約 20 分間程度を予定しています。

- 2 投稿欄について

会員の皆様から、“ひきこもりの理解”に関する本の紹介や講演の感想等、募集しています。

#### 富山県ひきこもり地域支援センター からのお知らせ

相談時間 : 月曜日～金曜日 8:30～12:00、13:00～17:00 (要予約)

グループ相談を実施しています。

- ・本人グループ 毎週火曜日 10:00～12:00
- ・親グループ 毎月第2木曜日 14:00～16:00

まずはお電話でご相談ください。電話 : 076-428-0616

場所 : 富山県心の健康センター内 〒939-8222 富山市蜷川 459-1

#### IV 高岡つくしの会より (2003年設立)

8.9月の予定

月例会 8月11日(日) 1時半より

9月 8日(日) 1時半より

場所 高岡市博労公民館 会議室

#### おとぎの森定例会

8月24日(土) 2時より

9月11日(水)、9月21日(土) 2時より

場所 高岡市おとぎの森.子どもの家二階会議室(ログハウス内)

- ・高サポ : きままスペース 毎週木曜日 14:00~ 高岡地域若者サポートセンター
- ・高岡市役所福祉課相談受付・福祉連携推進室 (ひきこもりに関する複合的相談)



#### V 書籍・論文の紹介 『ひきこもりの実態とあらゆる世代への支援』 著者: 船越明子 (神戸市看護大学)

『「ひきこもり」問題のこれまでとこれから』 著者: 近藤直司 (大正大学)

保健師ジャーナル Vol.75 No.06 2019、医学書院

船越先生の論文の前書きには、【「ひきこもり」の事例は元来多様で複合的な問題を含んでいるが、それと同時に近年では「80・50問題」に代表されるひきこもりの長期・高年齢化への対応も求められている。内閣府による最新の調査結果も含めて現状に対する理解を踏まえた上で、保健師に求められる役割について述べる。】と書かれています。7月号で紹介した新潟青陵学会誌 2022.3の李 在億先生他による論文の文献欄で見つけ、様々な方々のご協力により、手にすることができました。

論文の内容も素晴らしいのですが、出版元にはすでに在庫がなく、問い合わせた県看護協会の事務局の方を経由して、A厚生センターから、「当センターにあります」と連絡をいただいた時の感動は大きいものでありました。船越先生の論文の次に掲載されていた近藤先生の論文も素晴らしい内容で、私の喜びはさらに大きくなりました。(やま)